

(第6条関係)  
事業計画書

事業名	「子で作る健康料理」支援事業
団体名	数値調理会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	ひとり親世帯が市内2400世帯余り(平成27年調査)あり、増え続けている。親が家事に割く時間にゆとりがなく、学童の教育にも影響があり、親の負担軽減が必要である。		
事業の目的	子に現代的な調理器具や調理家電の使い方を教えて、ひとり親の家事労働を軽減しようとする目的を掲げる。同時に子の居場所として厨房が安全で積極的な活動の場になることを目指す。また要介護者に苦勞して食事を作る高齢男性にも実習機会を与え、食相談・便利な調理器具の紹介による円満な家庭生活の実現を図る。		
事業内容	1 事業内容		
	A) レシピ「親に子で作る健康料理」を製作し、配布する。		
	B) 講習会を1回開催する。新知識の獲得と交際範囲の拡大を期待する		
	C) 子供料理教室を8回開催し、必要とされる調理器具を配付し、その使い方を伝授する。副次的に高齢スタッフが子供との心の交流を期待する。		
	D) スタッフ補充のため、指導員養成実習を6回する		
	2 スケジュール		
		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	4月	レシピ公募開始・第1回(補充)指導員養成実習	一般市民、小中学校生、大学生
	5月	第2回(補充)指導員養成実習	数値調理会 本部
6月	レシピの編集・第3回(補充)指導員養成実習		
7月	レシピの印刷・第4回(補充)指導員養成実習	商業印刷およびサポセン・広報	
8月	第1回 第2回料理教室	新松戸市民センター	
9月	第1回講演会・第3回料理教室	食育講演	
10	第4回料理教室・	市民活動サポートセン	

	月	第5回(補充)指導員養成実習	ター
	11月	第5回料理教室第6回(補充)指導員養成実習	市民活動サポートセンター
	12月	第6回料理教室	市民活動サポートセンター
	1月	第7回料理教室	市民活動サポートセンター
	2月	第8回料理教室	市民活動サポートセンター
既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ	過去2年間、松戸市民の健康寿命延伸を目指して、レシピ印刷配布と実践的減塩食試食会を公開し、食育講師招聘した。高齢者の居場所作りとしても、減塩食の普及としても成功した。ステップアップの一つの方向として多世代共生を支援する。		
事業の目標	A) レシピ配布数 300部 B) 料理教室参加者 合計192名内有料参加者96名 C) 指導員新規補充 12名以上		
今後の展望	レシピ公募を通じて生じる学生など若年層のスタッフ起用が可能になり、規模の拡大ができる。高齢者が子供との交流を楽しみ、多世代の居場所になりうる。		

(第6条関係)

### 事業の予算概要

#### 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥23,660	数値調理会拠出金
	事業収入	¥93,000	教室参加費スタッフ(500円*12名*8回)+指導員養成実習(500円*15名*6回)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 116,660	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 416,660	

#### 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥39,000	1回講演料(15,000円)+採択原稿報償(1,000円*24頁)
	消耗品費	¥4,800	A3紙代(白+クリーム)2500枚
		¥46,080	調理器具配布(タイマー、スケール、ピーラー、計量スプーン)(960円*48名)
		¥5,240	手袋345円、紙タオル310円 8回分(345円*8回+310*8回)
	食糧費	¥115,200	共用調味料、食材費延べ192名
	印刷製本費	¥70,740	チラシ(500枚*20円)+レシピ(300冊*194円)+カラーコピー(50円*20枚)+連絡文書(220枚*7円)
	通信費	¥27,844	切手(82円*30人*8回)+健康食品(調味酢+シベリア蕎麦)取寄せ費用(2032円*2回)、関連団体へレシピ配布費用(205円*20団体)
	保険料	¥19,896	行事保険(28円*(料理教室延べ192名+養成実習90名))+検便費(500円*24名)
	使用料	¥6,660	編集会議740円*3時間*3回
対象経費の合計 (D)		¥ 335,460	
その他経費	食料費	¥73,200	料理教室反省会200円*12名*8回+指導員養成実習600円*90名
	交通費	¥8,000	1000円*8回
	その他経費の合計 (E)	¥ 81,200	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 416,660	

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。